

大阪代協

活動に参加し代協の魅力を 新入会員オリエンテーション

大阪代協(黒石光寿会長)は12月2日午後2時15分から、同代協会議室で新入会員オリエンテーションを行い、新入会員10名が参加した。まず黒石会長が新入会員に対して次のように挨拶。

「代協は代理店の地位向上、業界の発展のためにかんはっており、会員拡大にも力を入れていきます。仲間同士の情報交換や地域貢献など、支部会や委員会に参加いただき、その活動を通じて代協活動の魅力を感じていただきたい。」

引き続き、参加者の自己紹介が行われ、入会の動機として「代理店として経験が浅いのでいろいろと教えてもらいたい」「4月に研修生を卒業したあと、保険会社の業務連絡会で代協の話を聞いて、業法改正などを考える必要だと思いい代協に入りました」などがあった。

このあと、嶋康仁副会長が大阪代協の活動の紹介として、①組織、②取り組み、③各種委員会、④損害賠償責任保険、⑤代理店賠償責任保険、⑥全国損害保険代理業国民年金基金などについて説明をした。また、黒石会長から全国損害保険代理業政治連盟について、日本代協・小出富晴副会長から日本



オリエンテーションの様相

代協について話をした。最後に、諏訪年信専務理事が「新入会員のみなさんにも代協の一端を担っていただき、満足できる代協にしていきたい」と閉会挨拶。

